

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者様が高齢化及び重度化してきてる中でこれから先、外出の機会を増やすには、どう対応していったらよいか？又職員病欠・入院の為、職員少人数での外出をどう対応していくかが、課題である。	できるだけ四季を感じてもらえるように外出・外食の機会を作る。	全員での外出は困難なので、少人数で出かける。全員での外出(家族会・岐阜公園)は勤務変更にて職員の人数を増やす。但しその日の前後の勤務に支障をきたす為、この日以外は、少人数で出かける計画をする。	6ヶ月
2	5	1Fは拘束していないが、2Fは自歩出来る方々なのでエレベーター・階段を見守りなしでの利用は転落、事故になりやすい。職員の目が届かない時、施錠はどうか？	施錠なしでの転落、事故を防げるようにしたい。	1階は玄関や裏口は職員の見守りができる体制にあり施錠はされていない。 2階はチャイムで対応できるようにする。職員がその場を離れる時(他者介助中)などは危険防止の為に、一時的に必要なに応じて施錠する。(チャイムでは居室等にいないと、聞こえなかったり、すぐに走っていても間に合わない。)	6ヶ月
3	15	利用者様と一緒に食事をするには、どう対応するか？	利用者様と職員は同じ献立ではないが、談話を交えながら、楽しく食事をする。	1階の利用者様は見守り介助2人、全介助が必要な方が4人、みえるので、職員と一緒に食事を取る事は困難であるが、談話して楽しく食事してもらう。 2階の利用者様は自力で食べられる方々なので、職員も一緒に会話を交えながら食事をする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。